

臨海副都心MICE拠点化推進事業 補助対象事業内容

No	事業内容	補助理由(期待される効果)	事業者名
MICE機能の充実に資する事業			
1	<p><MICE会場の整備> 国際会議主催者や外資系企業から要望が高い、遮音性に優れたコンベンションホールをTOC有明20階に新設する。(約1,300㎡ 共用部含む) wifi設備を導入予定</p>	<p>○ 臨海副都心地域は、東京ビッグサイトをはじめホテルなどコンベンション施設が多数あり、MICE会場として利便性が高い地区ではあるが、1,000㎡以上の会議室が4箇所と少なく、大規模な国際会議と併せて行う分科会などの会場も不足するなど、MICE機能のさらなる充実が必要な状況にある。</p> <p>○ 東京の観光名所を一望できる眺望(29階)を備えたMICE会場や、臨海副都心地区に不足する、海外MICE案件に不可欠な優れた遮音性、wifi設備をもつ中規模ホール(約1,000㎡)を新設することにより、潜在的な会議需要の掘り起こしにつながる。</p>	(株)テーオーシー
2	<p><MICE会場の整備> ホテル グランパシフィック LE DAIBA29階のフロアを改修し、臨海副都心の眺望を見渡せる高層階の会議場を整備する。(70㎡→186㎡) 防音・セキュリティ等、海外MICE案件に求められる機能を装備</p>	<p>○ これらの整備により、更なる海外MICE案件の誘致を見込むことができ、さらに周辺ホテル・商業施設も含めた効果が期待できる。</p>	京浜急行電鉄(株)
アフターコンベンション機能の形成に効果が高いと認められる事業			
3	<p><交通機関における外国人サービスの向上> ・ゆりかもめ新橋駅にデジタルサイネージを設置し、臨海副都心に関する情報(施設案内、イベント情報)を多言語で提供 大型1台(100インチ程度)→新橋駅JR乗換エロ3連エスカレーター下 中型3台(50インチ程度、タッチパネル式)→コンコース階 ・旅客案内用4カ国語対応のアプリを入れたタブレット端末を活用し、全16駅で外国人旅客案内を充実させる。(翻訳アプリ、地図情報、ゆりかもめ利用案内、筆談など)</p>	<p>○ 臨海副都心の玄関口(新橋駅)において、施設情報や、イベントを始めとする臨海副都心の様々な情報を動画などにより多言語で発信するデジタルサイネージは、臨海副都心地域の回遊・再訪問の促進、外国人へのサービス向上につながる。また、災害時には情報提供ツールとしても活用できるなど、非常に有用である。</p> <p>○ 臨海副都心の重要な交通機関であるゆりかもめにおいて、駅係員による外国語での複雑な案内は不十分であり、インターフォンを通じての英語対応に限られているのが現状である。 多言語対応のアプリを組み込んだタブレット端末の導入事業により、外国人が必要とする情報を、画面を見ながら分かりやすく説明することができ、また、中国語や韓国語への対応も可能となるなど、外国人へのサービス向上につながり、臨海副都心地域の回遊・再訪問を促進する効果も期待できる。</p>	(株)ゆりかもめ
外国企業の進出促進に資する事業			
4	<p><外国企業の誘致促進> テレコムセンタービル内にインキュベーション施設(事業の創出や創業を支援する施設)を整備するとともに、国内及びアジア各国の起業家への起業・経営・進出支援を実施 (オフィス整備面積 約500坪)</p>	<p>○ 海外インキュベーション施設とのネットワークにより、国内のみならずアジアを始めとする海外起業家を呼び込み、臨海副都心を海外企業の日本進出拠点へと発展させる効果が期待できる。</p> <p>○ 東京都立産業技術研究センターなどが立地する青海地区への整備であり、立地的にも、最先端の技術開発に取り組むベンチャー企業の誘致に効果的である。</p> <p>○ 日本進出を目指す海外ベンチャーとアジア進出を目指す起業家が本オフィスで交流することにより、臨海副都心での新たなビジネスチャンスを創出する効果が期待できる。</p>	後藤建築事務所(株)
5	<p><外国人向けの医療環境の整備等> ・観光や、ビジネスで訪れる外国人とその家族が安心して受診できるよう病院内における言語障壁を解消するための環境を整備 (電子カルテシステムの外国語対応、指差し通訳機能付きタブレット端末の導入、IT環境の整備、病室内多者間通話機器の設置) ・臨海地域における学会会議等の誘致につなげるため、海外の医療機関との学術的・医療的な国際交流・連携の促進 (カンファレンスルームの整備、国際会議システムの整備、病理遠隔システムの整備)</p>	<p>○ 臨海副都心には、国内最大の展示施設である東京ビッグサイトをはじめとするMICE施設が集積しており、MICEに参加している外国人も、緊急時に有明地区の救急病院であるがん研有明病院に搬送されている。 特にビジネスで訪れる外国人及びその家族は、言語面における不安が大きく、安心して医療を受けられることに対するニーズが強いと言われており、外国人向けの医療環境を整備することは、臨海副都心のMICE拠点化及び外国企業の誘致の推進にあたり、重要な要素であると考えられる。</p> <p>○ 日本におけるがん医療機関の中心的存在であるがん研有明病院が、海外の医療機関との連携・交流を促進する環境を整備することにより、臨海地域における国際的な学会会議の開催が期待できる。</p>	公益財団法人がん研究会